

「京都市地球温暖化対策計画<2011～2020>」に掲げる取組の 進捗状況（2011（平成 23）年度上半期）について（案）

本市では、2011（平成 23）年 4 月から、改正京都市地球温暖化対策条例に基づき策定した「京都市地球温暖化対策計画<2011～2020>」（以下、「計画」という。）を推進している。

このたび、計画に掲げた取組の 2011（平成 23）年度上半期の取組について、進捗状況を取りまとめたので、進捗管理方法を確認するとともに、進捗状況の点検・評価を行う。

1 進捗管理方法

- 点検・評価の頻度 年に 2 回（上半期及び下半期）
- 進捗の把握資料 別紙のとおり
- 進捗の評価項目
 - ・進捗区分、進捗状況
 - ・削減評価指標及び進捗指標
 - ・予算額及び決算額

2 進捗区分による把握

取組の進捗について、表 1 のとおり 4 項目に区分し、進捗状況を把握する。
（京都市基本計画の行動計画の進捗区分に準拠）

表 1 進捗区分別の基準

区 分	説 明	進捗区分の判断基準例（事業の性質別）		
		施設整備の場合	計画策定の場合	事業実施の場合
実施済み 又は本格実施中	実施済み又は実施中	建設工事着工～竣工前	審議会等での審議開始	実施～
実施前最終段階	方針・内容等がほぼ固まり、実施の一手手前にある	基本設計 実施設計	審議会構成や諮問事項の確定後審議開始前	実施内容・時期の決定～実施前
企画構想段階	実施内容等について検討中	基本構想 基本計画	庁内プロジェクト、検討会議などでの具体的な検討開始	地元とのワークショップ、庁内プロジェクトなどで具体的な検討開始
着手前	検討を始めていない	検討開始前	検討開始前	検討開始前

計画に掲げている 118（重複を含む（重複を含まない場合、108））の具体的な取組において、実施済み又は本格実施中は 84、実施前最終段階は 1、企画構想段階は 20、着手前は 13 となっている。

	総数	実施済み又は 本格実施中	実施前 最終段階	企画構想 段階	着手前
計	118	84	1	20	13

社会像 1 人と公共交通優先の歩いて楽しいまち（下線は、戦略プロジェクトの取組）

- 戦略プロジェクト7取組をはじめとする25の具体的取組が掲げられている。
- **【既存公共交通の取組】**は、「市内共通乗車券の創設」など5取組が、実施済み又は本格実施中である。
 - そのほか、「京都駅南口駅前広場の整備」など1取組で実施に向けた調査・検討等が進んでいる。
 - 一方、「交通情報通信システムの開発」は着手前である。
 - **【まちづくりの取組】**は、「パークアンドライドの通年実施」など5取組が、実施済み又は本格実施中である。
 - そのほか、「四条通の歩道拡幅と公共交通優先化」や「東大路通の自動車抑制と歩道拡幅」など5取組で実施に向けた調査・検討等が進んでいる。
 - **【ライフスタイルの取組】**は、「学校教育、シンポジウム、イベント、商業施設などでの普及・啓発」など、4取組全てが実施済み又は本格実施中である。
 - **【エコカーへの転換】**は、「特定事業者への導入義務化」「電動バス・ハイブリッドバスなどの導入」など3取組が、実施済み又は本格実施中である。
 - 一方、「商業施設などへの充電設備・水素ステーションの設置に対するインセンティブの付与の検討」は着手前である。

	総数	実施済み又は 本格実施中	実施前 最終段階	企画構想 段階	着手前
社会像1. 人と公共交通優先の歩いて楽しいまち	25	17	0	6	2
1. 「既存公共交通」の取組	7	5	0	1	1
(1) 公共交通利便性向上施策	7	5	0	1	1
2. 「まちづくり」の取組	10	5	0	5	0
(1) 「歩くまち・京都」を支える歩行空間の充実	2	0	0	2	0
(2) 未来の公共交通の充実	1	0	0	1	0
(3) 自動車交通の効率化と適正化	6	4	0	2	0
(4) 歩行者と共存可能な自転車利用環境の整備	1	1	0	0	0
3. 「ライフスタイル」の取組	4	4	0	0	0
(1) 『『歩くまち・京都』憲章』の普及・啓発	1	1	0	0	0
(2) 「スローライフ京都」大作戦(プロジェクト)	3	3	0	0	0
4. エコカーへの転換	4	3	0	0	1
(1) インフラ整備の推進	1	0	0	0	1
(2) 事業者・販売店を通じた転換促進	3	3	0	0	0

社会像2 森を再生し「木の文化」を大切にすまち (下線は、戦略プロジェクトの取組)

- 戦略プロジェクト3取組を含む25の具体的取組が掲げられている。
- **【地域産木材の活用】**は、「CASBEE 京都による環境性能の評価が高い建築物の普及促進」「平成の京町家の普及促進」など7取組が、実施済み又は本格実施中である。
 - そのほか、「特定建築物への地域産木材の利用義務化」「地域産木材ストック情報システムの整備」は実施に向けた調査・検討等が進んでいる。
 - 一方、「ウッドマイレージなどの評価」は着手前である。
 - **【森林の適切な保全】**は、「健全で多様な森林の育成」など、6取組が実施済み又は本格実施中である。
 - また、「里山など森林を活用した環境学習事業の展開」は実施前最終段階である。
 - **【水と緑と風を生かしたまちづくり】**は、「公共施設の緑化の推進など」5取組が、実施済み又は本格実施中である。
 - そのほか、「特定建築物への緑化義務化」は実施に向けた調査・検討等が進んでいる。
 - 一方、「民有地緑化の推進」「鴨川を幹とした風の道づくり」は着手前である。

	総数	実施済み又は 本格実施中	実施前 最終段階	企画構想 段階	着手前
社会像2. 森を再生し「木の文化」を大切にすまち	25	18	1	3	3
1. 地域産木材の活用	10	7	0	2	1
(1) 建築物の地域産木材利用	5	4	0	1	0
(2) 間伐材や木質ペレットなどの利用	3	3	0	0	0
(3) 木材利用者への情報提供	2	0	0	1	1
2. 森林の適切な保全	7	6	1	0	0
(1) 森林整備	3	3	0	0	0
(2) 林業の振興	2	2	0	0	0
(3) 森づくりへの市民参加	2	1	1	0	0
3. 水と緑と風を生かしたまちづくり	8	5	0	1	2
(1) 市街地の緑化	4	2	0	1	1
(2) ヒートアイランド対策	4	3	0	0	1

社会像3 エネルギー創出・地域循環のまち（下線は、戦略プロジェクトの取組）

- 戦略プロジェクト6取組を含む15の具体的取組が掲げられている。
- **【再生可能エネルギーの導入拡大】**は、「DO YOU KYOTO?クレジット」制度の創設「太陽光発電設備及び太陽熱利用設備の導入に対する補助などの実施」など8取組が、実施済み又は本格実施中である。
 - そのほか、「特定建築物への再生可能エネルギーの導入義務化」「小水力発電の導入」「南部クリーンセンター第2工場建替え時におけるバイオガス化施設の併設」は実施に向けた調査・検討等が進んでいる。
 - 一方、「市民協働発電の実施」「新築住宅への再生可能エネルギーの導入義務化の検討」は着手前である。
 - **【地域におけるエネルギーマネジメント】**は、「エコ・コンパクトな都市に向けた土地利用の促進」が実施済み又は本格実施中である。
 - そのほか、「らくなん進都、岡崎地域などにおける新たなエネルギーマネジメントシステムの構築」は、実施に向けた調査・検討等が進んでいる。

	総数	実施済み又は 本格実施中	実施前 最終段階	企画構想 段階	着手前
社会像3. エネルギー創出・地域循環のまち	15	9	0	4	2
1. 再生可能エネルギーの導入拡大	13	8	0	3	2
(1)事業活動における活用	4	3	0	1	0
(2)市民生活における活用	4	2	0	0	2
(3)公共部門における活用	5	3	0	2	0
2. 地域におけるエネルギーマネジメント	2	1	0	1	0
(1)スマート・コミュニティの構築	2	1	0	1	0

社会像 4 環境にやさしいライフスタイル（下線は、戦略プロジェクトの取組）

- 戦略プロジェクト 6 取組を含む 20 の具体的取組が掲げられている。
- **【エコ生活の普及促進】**は、「京朝スタイルの普及」「農林水産物の地産地消と「京の時待ち食」の普及・推進による環境に配慮した食生活の普及」など 8 取組が、実施済み又は本格実施中である。
 - そのほか、「多様なメディアを積極活用した普及啓発」は実施に向けた調査・検討等が進んでいる。
 - 一方、「大学のまち京都・学生の京都の学生の力を活用したエコ活動の推進」は着手前である。
 - **【地域コミュニティにおけるエコ活動の促進】**は、「エコ学区、エコ商店街、エコ大学など新たな「エコ・コミュニティ」の創設」など、3 取組全てが実施済み又は本格実施中である。
 - **【環境に配慮した住宅の普及促進】**は、「CASBEE 京都による環境性能の評価が高い建築物の普及促進」（再掲）「平成の京町家の普及促進」（再掲）など 3 取組が、実施済み又は本格実施中である。
 - そのほか、「省エネ住まいアドバイザー制度の創設」は実施に向けた調査・検討等が進んでいる。
 - 一方、「家庭における省エネ診断の拡充」「省エネラベル制度の拡充の検討」「既存住宅の環境配慮性能を表示する制度の在り方の検討」は着手前である。

	総数	実施済み又は 本格実施中	実施前 最終段階	企画構想 段階	着手前
社会像 4. 環境にやさしいライフスタイル	20	14	0	2	4
1. エコ生活の普及促進	10	8	0	1	1
(1) エコを楽しく格好よく	5	3	0	1	1
(2) エコで健康に	2	2	0	0	0
(3) エコを学ぶ	3	3	0	0	0
2. 地域コミュニティにおけるエコ活動の促進	3	3	0	0	0
(1) 地域ぐるみのエコ活動の促進	3	3	0	0	0
3. 環境に配慮した住宅の普及促進	7	3	0	1	3
(1) 住宅の低炭素化の推進	4	3	0	1	0
(2) エネルギー使用量の「見える化」の推進	3	0	0	0	3

社会像5 環境にやさしい経済活動（下線は、戦略プロジェクトの取組）

- 戦略プロジェクト6取組を含む18の具体的取組が掲げられている。
- **【環境産業の振興・育成】**は、「京都府・経済界との連携による「京都産業育成コンソーシアム」の設立」「付加価値の高い新産業を創造する京都版S B I Rの推進」など4取組が、実施済み又は本格実施中である。
 - そのほか、「低炭素社会の実現を先導する環境知恵産業（環境エネルギー関連産業）のブランド化」は実施に向けた調査・検討等が進んでいる。
 - 一方、「カーボン・フットプリントの活用による環境価値の「見える化」の促進」は着手前である。
 - **【企業における低炭素化の促進】**は、「高効率機器の導入に対する補助」環境にやさしい経済活動「事業者排出量削減計画書制度における総合評価制度の導入と低評価の場合の追加削減対策」など6取組が、実施済み又は本格実施中である。
 - 一方、「ノンフロン製品（業務用冷蔵・冷凍機器など）の普及促進」は着手前である。
 - **【環境価値の創出・循環】**は、「DO YOU KYOTO?クレジット制度の創設」（再掲）「環境に配慮した観光の推進」など3取組が、実施済み又は本格実施中である。
 - そのほか、「会議・イベントにおけるカーボン・オフセットの推進」「京都市役所総排出量削減推進制度の創設」は実施に向けた調査・検討等が進んでいる。

	総数	実施済み又は 本格実施中	実施前 最終段階	企画構想 段階	着手前
社会像5. 環境にやさしい経済活動	18	13	0	3	2
1. 環境産業の振興・育成	6	4	0	1	1
(1)産学公連携による環境技術の開発	3	3	0	0	0
(2)事業拡大支援	3	1	0	1	1
2. 企業における低炭素化の促進	7	6	0	0	1
(1)中小事業者における低炭素化の促進	5	4	0	0	1
(2)大規模事業者における低炭素化の促進	2	2	0	0	0
3. 環境価値の創出・循環	5	3	0	2	0
(1)環境価値の創出の仕組みづくり	2	2	0	0	0
(2)環境価値の需要拡大	3	1	0	2	0

社会像6 ごみの減量

戦略プロジェクト1取組を含む15の具体的取組を掲げている。

- **【そもそもごみを出さない】**は、「レジ袋削減協定の拡大」「ごみの減量と商店街の活性化を目指す「エコ商店街事業」「業者収集ごみの透明袋制の導入」など7取組全てが、実施済み又は本格実施中である。
- **【ごみは資源、可能な限りリサイクル】**は、「使用済てんぷら油などの回収拠点拡大」「多様な資源物回収拠点拡大」など6取組全てが、実施済み又は本格実施中である。
- **【ごみは安全に処理して最大限活用】**は、「ごみ処理施設の経済性に配慮した整備・運営」「南部クリーンセンター第2工場建替え時におけるバイオガス化施設の併設」(再掲)が、実施に向けた調査・検討等が進んでいる。

	総数	実施済み又は 本格実施中	実施前 最終段階	企画構想 段階	着手前
社会像6. ごみの減量	15	13	0	2	0
1. そもそもごみを出さない	7	7	0	0	0
(1) すぐにごみになるものを「買わない・つくらない」	3	3	0	0	0
(2) 事業所などから出るごみを減らす	3	3	0	0	0
(3) わかりやすい情報提供と環境学習機会の拡大	1	1	0	0	0
2. ごみは資源、可能な限りリサイクル	6	6	0	0	0
(1) 徹底した分別によるリサイクルの推進	3	3	0	0	0
(2) 地域力を生かした地域密着型の取組の推進	2	2	0	0	0
(3) 「学生のまち、観光のまち」ならではの取組の推進	1	1	0	0	0
3. ごみは安全に処理して最大限活用	2	0	0	2	0
(1) ごみからのエネルギー回収の最大化	1	0	0	1	0
(2) 環境負荷を低減するごみの適正処理	1	0	0	1	0

表2. 戦略プロジェクトに掲げた取組の進捗状況別数

	総数	実施済み又は 本格実施中	実施前 最終段階	企画構想 段階	着手前
計	26	17	0	6	3
①歩くまち・低炭素都市づくりプロジェクト	12	7	0	4	1
「歩くまち・京都」総合交通戦略の推進	7	4	0	3	0
京都らしいエコ・コンパクトな都市づくりの推進	2	1	0	1	0
森林の適切な保全と地域産木材の活用	3	2	0	0	1
②グリーンエコノミー創出プロジェクト	9	5	0	2	2
グリーン・イノベーションの推進	3	2	0	1	0
スマート・コミュニティの構築	3	1	0	1	1
環境価値の「見える化」	3	2	0	0	1
③エコライフ・コミュニティ創出プロジェクト	5	5	0	0	0
地域からのエコライフの発信	1	1	0	0	0
新たなエコスタイルの提案	2	2	0	0	0
循環型社会システムの構築	2	2	0	0	0

3 削減効果指標及び進捗指標（2010（平成22）年度）

計画において、118の具体的取組に関係する17の削減効果指標及び40の進捗指標を掲げている。（重複を含む。）

- 削減効果指標は、取組の進捗状況を把握し、さらに温室効果ガス排出量の削減効果の算定に結びつくものである。
- 進捗指標は取組の進捗状況の把握に結びつくものである。

とりわけ、進捗区分が「実施済み又は本格実施中」である取組は、これらの指標により管理することが重要である

※ 指標の取りまとめについては、年度途中での把握が難しいものがある。
また、各種統計資料等の公表時期によって、昨年度の数値の把握が難しいものがある。

表3. 削減効果指標（2009年度または2010年度）

社会像	部門	削減効果指標	単位	2008(平成20)年度 基準値		最新年度実績値 (年度)	削減量 (千トンCO ₂)	削減見込量 (千トンCO ₂)	進捗割合	
				→	→					
1. 歩くまち	運輸	市内自家用車保有台数	万台	51.6	→	51.2	2009	19.3	76.8	25.1%
	運輸	自動車燃費【販売ベース】	km/L	16.9	→	18.1	2009	3.8	258.3	1.5%
	運輸	電気自動車及びプラグインハイブリッド車の普及台数	台	8	→	43	2009	0.05	59.8	0.1%
	合計							23.1	394.8	5.9%
2. 木の文化	業務	CASBEE京都評価届出件数【非住宅】	件	—	→	—		—	2.7	—
	産業業務	地域産木質ペレット利用量	トン	—	→	80	2010	0.10	4.4	2.3%
	全部門	森林面積【天然生林＋育成林】	ha	29,100	→	30,017	2010	4.5	5.0	90.8%
	業務	新規省エネ法基準達成建築物数【非住宅】	件	—	→	93	2010	0.30	5.0	6.0%
	合計							4.9	17.1	28.9%
3. エネルギー	産業 家庭 業務	太陽光発電設備の発電出力	千kW	8.2	→	13.6	2010	4.2	45.0	9.4%
	全部門	その他再生可能エネルギーの導入量	TJ	500	→	—		—	30.2	—
	合計							4.2	75.2	5.6%
4. ライフスタイル	家庭	高効率家電製品の普及台数【エアコン、冷蔵庫】	万台	—	→	—		—	107.0	—
	運輸	エコドライブ宣言者数	万人	1.3	→	5.1	2009	9.7	47.5	20.3%
	全部門	エコ学区における削減量測定の予定世帯数	世帯	—	→	—		—	0.3	—
	家庭	長期優良住宅認定件数	件	—	→	853	2010	0.28	6.8	4.1%
	家庭	CASBEE京都評価届出件数【住宅】	件	—	→	—		—	0.5	—
	家庭	新規省エネ法基準達成建築物数【住宅】	件	—	→	67	2010	0.02	3.7	0.6%
	合計							10.0	165.8	6.0%
5. 経済活動	産業 業務	特定事業者制度報告書における総排出量	万トンCO ₂	53.2	→	51.2	2010	20.1	53.2	37.8%
	産業 業務		万トンCO ₂	100.3	→	101.5	2010	▲ 12.3	100.3	-12.3%
	家庭 業務	高効率給湯機器の普及台数	万台	—	→	—		—	48.6	—
	全部門	クレジット化された削減量	万トンCO ₂	—	→	—		—	10.0	—
合計							7.8	212.1	3.7%	
6. ごみ	廃棄物	市処理施設における廃プラスチックの受入量	万トン (ごみ量)	5.3	→	4.6	2010	19.3	72.2	26.8%
	合計							19.3	72.2	26.8%
合計							69.3	937.2	7.4%	

1. 歩くまち … 人と公共交通優先の歩いて楽しいまち
2. 木の文化 … 森を再生し「木の文化」を大切にすま
3. エネルギー … エネルギー創出・地域循環のまち
4. ライフスタイル … 環境にやさしいライフスタイル
5. 経済活動 … 環境にやさしい経済活動
6. ごみ … ごみの減量

表 4. 進捗指標

	単位	2010年度	2011年度 (9月末現在)	備考
社会像1. 人と公共交通優先の歩いて楽しいまち				
★市内公共交通の乗降客数(単年度値)	百万人	521(2009年度)	—	
★パークアンドライド通年実施箇所の収容台数(累積値)	台分	—	4,001 (H24年1月末)	
★公共交通利用者へのサービス提供を行う商業施設などの数(累積値)	件	—	4 (相談件数)	
★自転車事故件数(単年度値)		—	—	未検討
★本市関連の自転車等駐車場の収容台数(累積値)	台	42,222	43,719	
★EV用充電設備設置数(累積値)	基	—	126 (7月末)	
社会像2. 森を再生し「木の文化」を大切にするまち				
★特定建築物における地域産木材利用量()	m ³	—	—	制度開始前
★公共施設における地域産木材利用量()	m ³	—	—	制度開始前
★平成の京町家認定戸数(累積値)	件	一般型2件	一般型2件 伝統型1件 (H24年1月現在)	
★木質ペレット原料用間伐材供給助成件数(単年度値)	件	0	—	単位をm ³ に変更
★林業労働者長期就労日数(累積値)	日人	11,627	—	
★森づくりサポーター登録者数(累積値)	団体	14	15	
★環境学習活動の実施回数(単年度値)	回	0	1	
★特定緑化建築物数(累積値)	件	—	—	制度開始前
★緑のまちなか緑化助成件数(単年度値)	件	15	19	
★市民農園区画数(累積値)	区画	3,693	—	
★打ち水実施数(単年度値)	回	1	1	
社会像3. エネルギー創出・地域循環のまち				
★使用済(てんぷら油)回収拠点数(累積値)	拠点	1,577	1,610	
★使用済てんぷら油回収量(単年度値)	L	193,172	99,699	
社会像4. 環境にやさしいライフスタイル				
★市民生活実感調査	%	46.3	56.5	
★京灯ディナー参加者数(累積値)	箇所	25	24	
★ライトダウン参加者数(累積値)	箇所	626	629	
★協力大学数()	大学	—	—	未検討
★市民生活実感調査	%	46.3	56.5	再掲
★エコチャレ実施学童数(単年度値)	名	11,200	1,110	
★京エコロジーセンター来館者数(単年度値)	人	68,881	—	
★各区によるエコ活動支援事業実施イベント数(単年度値)	件	—	—	
★省エネ化による固定資産税減額対象数()	件	—	—	未検討
★省エネ診断実施数(単年度値)	件	—	—	未検討
★省エネラベル制度対象製品数(累積値)	品	—	—	未検討
★省エネ化による固定資産税減額対象数()	件	—	—	再掲・未検討
社会像5. 環境にやさしい経済活動				
★省エネ診断件数(単年度値)	件	30	16	
★京都市役所の温室効果ガス削減量(単年度値)	トン	86,138	—	
社会像6. ごみの減量				
★レジ袋削減協定締結数(累積値)	事業者	14	15	
★回収拠点数(累積値)	拠点	—	—	未検討
★使用済(てんぷら油)回収拠点数(累積値)	拠点	1,577	1,610	再掲
★使用済てんぷら油回収量(単年度値)	L	193,172	99,699	再掲
★(資源物)回収拠点数(累積値)	拠点	68	88	
★(生ごみ堆肥化)助成件数(単年度値)	件	1	2 (H24年1月現在)	
★実施イベント(エコイベント登録)数(単年度値)	イベント	15	79	

3 予算

地球温暖化対策計画に掲げた取組に関する 2011（平成 23）年度の予算は、総額 3,309 百万円あり、そのうち 1,073 百万円が国費である。また、2012（平成 24）年度の予算は、4,707 百万円であり、そのうち約 855 百万円が国費である。

2011(平成23)年度		2012(平成24)年度	
	うち国費		うち国費
3,309.11	1,072.51	4,706.94	854.56

(百万円)

※2012(平成24)年度については、予算案

※合計は再掲等予算の重複分を差し引いているため合わない場合がある。

※ 本計画における予算の把握は、その事業のみ（さらには事業の中でも地球温暖化対策に関する取組のみ）で行われるのが理想であるが、同一の予算の枠組内で複数の取組を予定しているものもあり、事業別に算定できない例がある。その場合、予算枠組の総額を把握することとした。

社会像1 人と公共交通優先の歩いて楽しいまち

- 2011（平成 23）年度の予算は 413 百万円であり、主要な予算は、「京都駅南口駅前広場の整備」に係る 26.5 百万円及び、「電動（EV）バス・ハイブリッドバスなどの導入促進」に係る 237（うち国費：6）百万円である。
- 2012（平成 24）年度の予算は 1,293 百万円であり、主要な予算は、「京都駅南口駅前広場の整備」に係る 103（うち国費：55.7）百万円及び、「電動（EV）バス・ハイブリッドバスなどの導入促進」に係る 972（うち国費：6）百万円である。

	2011(平成23)年度		2012(平成24)年度	
		うち国費		うち国費
社会像1. 人と公共交通優先の歩いて楽しいまち	413.40	39.20	1,292.60	136.40
1. 「既存公共交通」の取組	66.70	2.40	155.10	62.40
2. 「まちづくり」の取組	88.80	11.80	129.70	40.70
3. 「ライフスタイル」の取組	37.80	21.40	56.80	40.00
4. エコカーへの転換	244.50	6.00	979.70	0

(百万円)

※2012(平成24)年度については、予算案

※合計は再掲等予算の重複分を差し引いているため合わない場合がある。

社会像2 森を再生し「木の文化」を大切にすまち

- 2011（平成23）年度の予算は401百万円であり、主要な予算は、「歴史的な町並みの保全・再生に係る補助」に係る129（うち国費：47）百万円、「健全で多様な森林の育成」に係る80.9百万円及び、「施業集約化の推進」「林業経営の効率化と低コスト化の推進」に係る89.972百万円である。
- 2012（平成24）年度の予算は460百万円であり、主要な予算は、「歴史的な町並みの保全・再生に係る補助」に係る127（うち国費：47）百万円、「健全で多様な森林の育成」に係る64.3百万円及び、「施業集約化の推進」「林業経営の効率化と低コスト化の推進」に係る100.201百万円である。

	2011(平成23)年度		2012(平成24)年度	
		うち国費		うち国費
社会像2. 森を再生し「木の文化」を大切にすまち	400.97	73.50	460.25	62.25
1. 地域産木材の活用	179.50	73.50	211.40	57.25
2. 森林の適切な保全	185.46	0	191.59	5.00
3. 水と緑と風を生かしたまちづくり	36.01	0	57.26	0

(百万円)

※2012(平成24)年度については、予算案

※合計は再掲等予算の重複分を差し引いているため合わない場合がある。

社会像3 エネルギー創出・地域循環のまち

- 2011（平成23）年度の予算は467百万円であり、主要な予算は、「太陽光発電設備の設置補助」に係る211.1百万円、「使用済てんぷら油から精製したバイオディーゼル燃料の利用拡大」に係る165.6百万円である。
- 2012（平成24）年度の予算は434百万円であり、主要な予算は、「太陽光発電設備の設置補助」に係る195.9百万円、「使用済てんぷら油から精製したバイオディーゼル燃料の利用拡大」に係る152百万円である。

	2011(平成23)年度		2012(平成24)年度	
		うち国費		うち国費
社会像3. エネルギー創出・地域循環のまち	466.84	32.80	433.93	0
1. 再生可能エネルギーの導入拡大	449.84	32.80	422.43	0
2. 地域におけるエネルギーマネジメント	17.00	0	11.50	0

(百万円)

※2012(平成24)年度については、予算案

※合計は再掲等予算の重複分を差し引いているため合わない場合がある。

社会像4 環境にやさしいライフスタイル

- 2011（平成23）年度の予算は928百万円であり、主要な予算は、「農林水産物の地産地消と「京の時待ち食」の普及・推進による環境に配慮した食生活の普及」に係る318.372（うち国費：160）百万円、「子どもへの環境教育の推進」に係る421.2（うち国費：200）百万円である。
- 2012（平成24）年度の予算は1,500百万円であり、主要な予算は、「農林水産物の地産地消と「京の時待ち食」の普及・推進による環境に配慮した食生活の普及」に係る242.638（うち国費：93.3）百万円、「子どもへの環境教育の推進」に係る959.3百万円である。

	2011(平成23)年度		2012(平成24)年度	
		うち国費		うち国費
社会像4. 環境にやさしいライフスタイル	928.45	364.01	1,500.19	100.06
1. エコ生活の普及促進	811.92	360.00	1,270.24	93.30
2. 地域コミュニティにおけるエコ活動の促進	50.50	0	65.83	0
3. 環境に配慮した住宅の普及促進	66.03	4.01	164.13	6.76

(百万円)

※2012(平成24)年度については、予算案

※合計は再掲等予算の重複分を差し引いているため合わない場合がある。

社会像5 環境にやさしい経済活動

- 2011（平成23）年度の予算は918百万円であり、主要な予算は、「京都環境ナノクラスター事業及び京の環境みらい創生事業」に係る643.5（うち国費：580）百万円、「付加価値の高い新産業を創造する京都版SBIRの推進」に係る129.1百万円及び「環境配慮活動に対する低利融資」に係る63百万円である。
- 2012（平成24）年度の予算は917百万円であり、主要な予算は、「京都環境ナノクラスター事業及び京の環境みらい創生事業」に係る626.1（うち国費：562.6）百万円、「付加価値の高い新産業を創造する京都版SBIRの推進」に係る124.3百万円及び「環境配慮活動に対する低利融資」に係る64百万円である。

	2011(平成23)年度		2012(平成24)年度	
		うち国費		うち国費
社会像5. 環境にやさしい経済活動	917.84	586.00	916.55	562.60
1. 環境産業の振興・育成	774.60	580.00	754.40	562.60
2. 企業における低炭素化の促進	108.94	6.00	118.35	0
3. 環境価値の創出・循環	48.50	0	63.33	0

(百万円)

※2012(平成24)年度については、予算案

※合計は再掲等予算の重複分を差し引いているため合わない場合がある。

社会像6 ごみの減量

- 2011（平成23）年度の予算は339百万円であり、主要な予算は、「多様な資源物回収拠点拡大」に係る199.807百万円である。
- 2012（平成24）年度の予算は320百万円であり、主要な予算は、「多様な資源物回収拠点拡大」に係る193.31百万円である。

	2011(平成23)年度		2012(平成24)年度	
		うち国費		うち国費
社会像6. ごみの減量	339.30	0	320.18	0
1. そもそもごみを出さない	38.05	0	33.50	0
2. ごみは資源、可能な限りリサイクル	299.81	0	284.18	0
3. ごみは安全に処理して最大限活用	1.44	0.00	2.50	0

(百万円)

※2012(平成24)年度については、予算案

※合計は再掲等予算の重複分を差し引いているため合わない場合がある。